入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の令和５年度第１回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時　　令和５年５月１８日（木）１４：００～１５：３０

開催場所　　本庁５階　特別会議室Ａ

令和５年度第１回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

１　会議名

令和５年度第１回北九州市入札等監視委員会

２　開催日時

開催日時　　令和５年５月１８日（木）１４：００～１５：３０
開催場所　　本庁５階　特別会議室Ａ

３　出席委員（五十音順）

城戸　將江、古林　節子、田篭　亮博、樋上　弥寿子、森江　由美子

４　議事

（１）令和４年度第４四半期の工事契約状況等の報告

ア　次の事項について報告した。

・工事契約件数及び契約金額について
・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

（２）令和４年度第４四半期の工事契約抽出案件の審議

ア　抽出方法について

審議する案件は、令和４年度第４四半期に契約をした工事の中から、古林委員が１０件（契約課契約分８件、西部整備事務所分２件）を抽出した。

イ　審議における質疑等

（問）　総合評価、一般競争入札による建築工事で、令和３年契約の改築工事に連なる大規模工事のため、入札内容を知りたく抽出した。

（答）　学校の校舎の建て替え工事で、既に第１期及び第２期の工事を行っており、今回別棟の工事となる。既存の校舎の内部改修や、渡り廊下で繋ぐ工事で、授業も行われており、別工事との調整も必要となることから、価格だけでなく、提案内容などを総合的に評価する総合評価落札方式を採用した。６者が応札し、落札業者の入札金額は３位で、価格以外の評価点が３位、これらを総合した評価値で１位となったため落札した。

（問）　総合評価、一般競争入札による港湾工事で、大規模な工事であるため、入札内容を知りたく抽出した。

（答）　廃棄物処理場の護岸工事で、海中に構造物を施工する特殊な技術を必要とすることから、総合評価落札方式を採用した。岸壁から海へ向かって廃棄物を投入する中仕切を作成する大規模な工事で、区画を複数に分けて同時期に入札を行い、同じ書類で複数の案件を審査する一括審査方式とした。落札業者の入札金額は５位で、価格以外の評価点が１位、これらを総合した評価値で１位となったため落札した。

（問）　一般競争入札による管工事で、落札率が低いため入札内容を知りたく抽出した。
（答）　ホールの空調設備を更新する工事である。予定価格のうち、機器費の占める割合が高い場合は、最低制限価格を設けず、入札を行っている。機器の仕入れ値等が大きく影響するため、最低の価格で入札した業者の入札価格と予定価格の差が大きく、落札率が低くなった。

（問）　一般競争入札による土木工事で、参加業者数が多いため入札内容を知りたく抽出した。
（答）　道路の改築工事で、市内の土木Ａランク業者を対象とした。工事の難易度が高くないため、多くの業者が参加した。最低制限価格制度を採用しており、１者が最低制限価格を下回ったため失格となり、２番目の価格で入札した業者が落札した。

（問）　指名競争入札による機械器具工事で、指名業者数が少ないため指名の理由を知りたく抽出した。
（答）　駐車場の管制設備を設置する工事である。空車情報の表示や駐車料金の精算などを一体的に管理する非常に特殊な機械の設置となるため、本市で請負可能な業者が限られており、指名業者数が少なくなっている。３者の指名に対して、１者辞退したため、２者による競争となった。

（問）　指名競争入札による建築工事で、施工条件が厳しいと考えられるが、応札の状況を知りたく抽出した。
（答）　山頂展望台のトイレ改修工事である。西部地区の建築ＢＣランク業者３１者を指名した。山頂への機材の持込や、他工事との調整、営業中の展望台レストランとの調整など困難な点があったため、辞退する業者が多く、最終的に２者が応札した。

（問）　指名競争入札による管工事で、施工条件が厳しいと考えられるが、応札の状況を知りたく抽出した。
（答）　前の案件のトイレ改修工事の機器や水回りの工事である。市内の管ＢＣランク業者３２者を指名した。山頂での作業であるため、辞退する業者は多かったが、前の案件よりは施工条件が困難でなかったため、１０者が応札した。３者が最低制限価格を下回ったため失格となり、４番目に低い金額で入札した業者が落札業者となった。

（問）　指名競争入札による舗装工事で、同日に同様の工事の入札を行っているが、業者の指名や落札者の重複の防止方法などを知りたく抽出した。
（答）　道路の舗装新設工事で、長い直線道路を一定区画ごとに分けて、今回は３件同時に入札を行った。競争性を確保するため、舗装Ａランク業者１８者を３件とも指名した。予定価格の高い案件から開札し、１件目で落札した業者は、２、３件目では取消とし、同じ業者が重複して落札しないようにしている。

（問）　指名競争入札によるとび土工工事で、復旧工事を入札に付しているが、緊急性の有無など契約の方法の決定理由を知りたく抽出した。

（答）　令和４年７月の集中豪雨で崩壊した法面を復旧する工事である。緊急性が高いため、大雨が降った当日にブルーシートを法面に設置して二次災害が起きないよう対策を行い、民地へ流出した土砂を撤去する緊急工事を行ったうえで、工事に係る設計業務委託を行い、今回の復旧工事の指名競争入札を行った。

（問）　指名競争入札によるとび土工工事で、指名業者数が多いため入札内容を知りたく抽出した。

（答）　河川管理道の防護柵を設置する工事である。とび土工で交通安全を第一希望とする西部管内の２６者全てを指名した。土木工事や造園工事に比べて業者数や工事件数が少なく、受注機会を増やし、競争性を高めるため、西部管内の該当業者全てを指名した。最低制限価格を下回った１３者が失格となり、最低制限価格を上回り、一番低い価格の業者が落札業者となった。